

特定課題VI 希少動植物の保全

1. 主要施策の取組状況

(1) 希少動植物の保全手法・対策と調査・モニタリングの検討

①希少動植物の保全手法・対策の検討

県オオタカ保護指針に基づき、オオタカの生息状況調査を行い、開発事業者等へ繁殖期間中の工事について配慮を促した。

ツキノワグマについて、生息状況を把握するために、県内の痕跡、目撃情報を収集するとともに、ツキノワグマのDNA試料の収集を行い、希少種保全にかかる基礎的な情報を収集できた。

県内の272箇所、約5,186 haでガン・カモ類の生息状況を調査し、177箇所でガン・カモ類が観察された。



ガン・カモ調査

ガン・カモ類生息観察調査

(箇所数、調査面積：ha)

項目名	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査箇所	271	273	271	272	272	273	271	272
観察箇所	189	190	186	183	175	168	167	177
調査面積	5,231	5,236	5,230	5,186	5,186	5,186	5,183	5,186

調査面積は概数

※太枠内は第4期計画期間

②淡水魚類のモニタリングと保全方策の検討

IV-(1)-②に記載のとおり

③丹沢大山に係る指定植物の見直し・更新

丹沢大山国定公園において、許可を受けなければ採取し、又は損傷することができない指定植物について、令和4年度に作成された「神奈川県レッドデータブック2022 植物編」に基づき見直し作業を進めた結果、令和6年12月27日に環境省により告示され、494種が指定された。

④希少動植物のレッドデータブックの更新

令和6年度は実績なし。

⑤希少動植物のモニタリング

「神奈川県レッドデータブック（動物編）」の更新に向け、昆虫類・クモ類の調査を実施した。

(2) 希少動植物の保護・回復事業の実施

①植生保護柵による希少植物の保全

I-(3)-②に記載

②ヤシャイノデの保護増殖と現地保全対策の実施

ヤシャイノデが生育する丹沢山地内の2流域（以下A沢とB沢）うち、自然状態のままでモニタリングしているA沢（20年前は16個体生育）で生育状況を確認したところ、1個体のみの確認にとどまった。